



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月9日

上場会社名 OUGホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 8041 URL <https://www.oug.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋爪 康至  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営基盤グループ担当 (氏名) 山田 稔 TEL 06-4804-3033  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	251,907	10.1	3,823	28.9	4,035	27.5	2,785	93.8
2022年3月期第3四半期	228,746	—	2,965	125.3	3,166	104.3	1,436	34.4

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 2,739百万円 (144.7%) 2022年3月期第3四半期 1,119百万円 (△17.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	505.60	—
2022年3月期第3四半期	259.12	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。  
 2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっているため、上記の売上高に係る対前年同四半期増減率については記載していません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	108,854	25,848	23.7	4,801.55
2022年3月期	78,742	23,841	30.3	4,299.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 25,848百万円 2022年3月期 23,841百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	320,000	7.2	3,100	7.8	3,300	6.7	2,200	63.6	408.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	5,562,292株	2022年3月期	5,562,292株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	178,964株	2022年3月期	17,136株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	5,509,149株	2022年3月期3Q	5,545,528株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残る中、経済活動の回復は徐々に進行しており、所得情勢には回復への足踏みがみられるものの、個人消費、生産活動、設備投資、雇用情勢には総じて持ち直しの動きがみられました。

先行きは、新型コロナウイルス感染症の収束動向や国内外の経済情勢など不透明な状況にあります。

消費者心理は、経済情勢の先行き不透明感や消費者物価の高騰等により厳しい状況にありました。また、消費者購買行動は、厳しい消費者心理を反映し、節約志向が継続しています。

水産物流通業界におきましては、需要動向については、新型コロナウイルス禍からの社会活動の回復が徐々に進み、内食関連需要から外食・宿泊関連需要に一部シフトがみられるものの、内食関連需要は比較的堅調に推移しました。また、インバウンド関連需要や輸出についても回復が徐々に進んでいます。

また、価格動向については、円安やロシアのウクライナ侵攻の影響によるエネルギー価格の高騰などを反映し、輸入水産物を始め、国内水産物においても調達価格は上昇し、これに呼応して販売価格も全般的に上昇しています。

業界環境としては、価格上昇により需要が減少傾向にある中、業種・業態の垣根を越えた販売競争が繰り広げられるなど、厳しい状況下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

また、『OUGグループ中期経営計画2021』（2021年度～2023年度）を実践することにより、バリューチェーンの最適化を意識したグループ役職員の個々の行動変容を通じ、業績を向上させるべく注力してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は251,907百万円(前年同四半期比110.1%)となりました。損益面では、売上総利益は22,339百万円(前年同四半期比105.4%)となり、営業利益3,823百万円(前年同四半期比128.9%)、経常利益4,035百万円(前年同四半期比127.5%)、親会社株主に帰属する四半期純利益2,785百万円(前年同四半期比193.8%)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### <水産物荷受事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能をもつ水産物荷受事業は、外食・中食関連の販売に回復傾向が見られる中、内食関連の販売も堅調に推移しており、販売価格の上昇を受け販売数量は減少しましたが、売上高は拡大しました。利益面については、調達コスト上昇と一部冷凍魚の相場下落により売上総利益率が低下したことから、売上高155,138百万円(前年同四半期比108.7%)、セグメント利益2,111百万円(前年同四半期比84.5%)となりました。

#### <市場外水産物卸売事業>

全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ市場外水産物卸売事業は、内食関連の販売が堅調に推移し、外食・宿泊関連の販売にも回復傾向が見られ、販売価格の上昇もあって売上高は伸長し、調達コスト上昇に主力水産物の相場下落もありましたが、売上高97,553百万円(前年同四半期比110.8%)、セグメント利益599百万円(前年同四半期はセグメント損失139百万円)となりました。

#### <養殖事業>

九州、四国にて、ハマチ、ブリ、マグロの養殖を展開する養殖事業は、年末の最需要期においても販売価格の高値が続いたことから販売数量は減少したものの売上高は伸長し、飼料、資材、燃料費等の値上げによる生産コストの上昇を吸収して、売上高7,300百万円(前年同四半期比116.9%)、セグメント利益1,088百万円(前年同四半期比186.7%)となりました。

#### <食品加工事業>

消費地にある食品加工センターでの水産加工、量販店向けの米飯加工、カット野菜加工、飲食事業者向けの加工・調理サービスなどを行う食品加工事業は、輸入原材料の調達コスト高騰による販売数量の減少や生産コスト、販管費の上昇により、売上高3,421百万円(前年同四半期比96.8%)、セグメント損失42百万円(前年同期はセグメント利益25百万円)となりました。

#### <物流事業>

物流センターにおいて、搬入された水産物等を量販店等の配送先別に仕分け・配送を行う物流事業は、配送コストや人件費、光熱費等の上昇により、売上高1,250百万円(前年同四半期比104.5%)セグメント利益9百万円(前年同四半期比78.2%)となりました。

<その他>

グループの水産物流通を補完するリース事業等その他は、売上高3,268百万円(前年同四半期比121.1%)、セグメント損失47百万円(前年同期はセグメント損失109百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べて30,112百万円増加し、108,854百万円となりました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加19,916百万円、棚卸資産の増加9,008百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べて28,105百万円増加し、83,005百万円となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加14,223百万円、借入金の増加13,725百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べて2,006百万円増加し、25,848百万円(自己資本比率23.7%)となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加2,452百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月12日公表の連結業績予想を修正いたしました。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,595	3,477
受取手形及び売掛金	28,873	48,789
商品及び製品	27,836	36,813
原材料及び貯蔵品	224	256
その他	893	1,009
貸倒引当金	△90	△128
流動資産合計	60,332	90,218
固定資産		
有形固定資産	10,584	10,707
無形固定資産	656	836
投資その他の資産		
投資有価証券	5,103	5,151
その他	2,365	2,251
貸倒引当金	△299	△311
投資その他の資産合計	7,169	7,091
固定資産合計	18,409	18,635
資産合計	78,742	108,854
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,814	35,037
短期借入金	15,703	30,333
1年内返済予定の長期借入金	4,212	2,522
未払法人税等	918	444
賞与引当金	795	364
その他	3,619	4,742
流動負債合計	46,063	73,445
固定負債		
長期借入金	5,741	6,526
退職給付に係る負債	2,405	2,330
役員退職慰労引当金	128	108
その他	562	595
固定負債合計	8,837	9,560
負債合計	54,900	83,005
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,495	6,495
資本剰余金	6,090	6,090
利益剰余金	10,252	12,705
自己株式	△42	△442
株主資本合計	22,796	24,848
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,189	1,314
繰延ヘッジ損益	56	△76
土地再評価差額金	△447	△447
退職給付に係る調整累計額	247	209
その他の包括利益累計額合計	1,045	999
純資産合計	23,841	25,848
負債純資産合計	78,742	108,854

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	228,746	251,907
売上原価	207,550	229,567
売上総利益	21,195	22,339
販売費及び一般管理費	18,230	18,516
営業利益	2,965	3,823
営業外収益		
受取利息	3	0
受取配当金	116	140
受取賃貸料	118	131
その他	156	204
営業外収益合計	395	477
営業外費用		
支払利息	132	151
賃貸費用	47	68
その他	15	46
営業外費用合計	194	265
経常利益	3,166	4,035
特別利益		
投資有価証券売却益	—	113
受取保険金	—	81
受取補償金	29	—
固定資産売却益	23	1
特別利益合計	52	195
特別損失		
減損損失	750	—
災害による損失	—	98
投資有価証券評価損	1	—
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	9	5
特別損失合計	766	103
税金等調整前四半期純利益	2,452	4,127
法人税、住民税及び事業税	925	1,131
法人税等調整額	90	211
法人税等合計	1,015	1,342
四半期純利益	1,436	2,785
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,436	2,785

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,436	2,785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△287	124
繰延ヘッジ損益	24	△132
退職給付に係る調整額	△54	△38
その他の包括利益合計	△317	△45
四半期包括利益	1,119	2,739
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,119	2,739
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	135,216	85,687	3,879	1,776	387	226,947	1,799	228,746	—	228,746
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,453	2,361	2,362	1,757	818	14,754	898	15,653	△15,653	—
計	142,669	88,049	6,242	3,533	1,205	241,701	2,698	244,399	△15,653	228,746
セグメント利益 又は損失(△)	2,498	△139	583	25	11	2,978	△109	2,868	96	2,965

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額96百万円には、セグメント間取引消去577百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△481百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	水産物 荷受事業	市場外 水産物 卸売事業	養殖事業	食品加工 事業	物流事業	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	148,038	94,780	4,349	2,010	420	249,598	2,308	251,907	—	251,907
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	7,100	2,773	2,950	1,410	839	15,074	959	16,034	△16,034	—
計	155,138	97,553	7,300	3,421	1,259	264,673	3,268	267,941	△16,034	251,907
セグメント利益 又は損失(△)	2,111	599	1,088	△42	9	3,766	△47	3,719	104	3,823

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業、水産物仲卸事業及び水産物小売事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額104百万円には、セグメント間取引消去642百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△538百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。